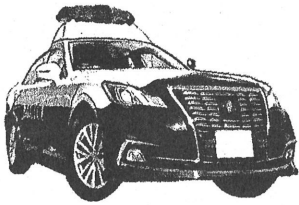


令和6年12月号



垂井警察署交番だより

作成者 表佐駐在所 栗田 垂井警察署 TEL0584-22-0110

特殊詐欺に対する固定電話対策を！

特殊詐欺被害のほとんどは、自宅の固定電話に直接出たことがきっかけになっています。
また、国際電話番号

+1 や+44 などから始まる番号、たとえば+1312345678、+44698765432
による特殊詐欺が大幅に増加しています。

このような表示の電話には出ない、かけ直さないように注意してください。

最近の犯人は、海外からの電話番号であなたに電話をかけてきます。

海外からの電話に出なければ、被害にあう確率は格段に低くなります。

海外との電話が不要な方は、申し込めば発信・着信を無償で休止できます。

お申し込み・お問い合わせはこちらから ↓ ↓

国際電話不取扱受付センター

【対象】 固定電話

【手続方法】 申込書を記載し、封筒に同封して郵送

〈申込書、封筒が必要な方は、垂井警察署 0584-22-0110 にお問い合わせください〉

【問合せ先】 電話番号 0120-210-364 (通話料無料)

〈オペレータ案内：平日午前9時～午後5時 自動音声案内：平日、土日祝24時間〉

※ 巡回連絡活動時や会合等において、お声をかけさせていただくことがあります。
ご理解よろしくお願いします。



交通事故死の約2倍?! 入浴中の事故に要注意!

この寒い季節、入浴中に気を失い、浴槽の中で溺れる事故が多く発生し、警察官が確認する事案が増えます(令和3年での統計ですが、高齢者の浴槽内での不慮の溺死及び溺水は、交通死亡事故のおよそ2倍です)。

この時期の入浴には死を招く危険性がたくさん潜んでいます。

暖かい部屋から寒い部屋への移動による血圧の急変「ヒートショック」はよく耳にしますが、もう一つ注意が必要なのが「浴室での熱中症」です。

これは高温の長風呂により、高体温や出浴時の脳血流減少などによる意識障害で、浴槽から出られなくなり、その結果、さらに体温が上昇して熱中症になることで、そのまま溺死してしまうことがあります、急に立って立ちくらみを起こして、転倒する事故などもあります。

特に暑さに対する感覚が鈍くなっている高齢者の方は注意が必要です。



- 入浴前に脱衣所や浴室を暖めておく
- 湯温は41度以下、お湯につかる時間は10分までを目安にする
- 浴槽から急に立ち上がらない
- 食後すぐの入浴や、飲酒後、医薬品服用後の入浴は避ける
- お風呂に入る前に、同居する家族にひと声かける
- 家族は入浴中の高齢者の動向に注意する



➡ 垂井署のホームページにつながります。
ご覧ください

